

H24年1月上旬の沿岸域の海況と漁況

1月上旬の漁況

・11月下旬は一本釣によるサワラの漁獲が多かったが、1月に入り、刺網によるサワラの漁獲量が増加。

各地の漁獲情報 (1/4~1/11まで)

出所:漁協担当者への聞き取り調査による

漁法	魚介類	水揚場所	漁獲量 (1日あたり)	操業数 (1日あたり)	備考
刺網	サワラ	御来屋	800箱	8~9隻	8日のみ, 2, 3本入
	赤碕		46箱	4隻	9日のみ
	泊		1700箱	10隻	1日間のみ
	酒津		180箱	2隻	2日間のみ
ハマチ	赤碕		120箱	4隻	9日のみ
	泊		130箱	2~3隻	1日間のみ
	酒津		60~260箱	2~3隻	
タイ類	淀江		6箱前後	1隻	2日間のみ
	泊		12箱	2隻	1日間のみ
アジ類	淀江		10~60箱	3~5隻	
	赤碕		30~120箱	1~2隻	3日間のみ
メバル	淀江		3箱	1隻	1日間のみ
ヒラマサ	赤碕		35箱	1隻	9日のみ
サゴシ	泊		20~40箱	2~3隻	2日間のみ
カゴ	カワハギ	酒津	45箱前後	1隻	2日間のみ
	鮮魚	泊	4箱	2隻	1日間のみ
桁	活魚	泊	10箱	2隻	1日間のみ
	一本釣	サワラ	淀江	70~450箱	20~25隻
		御来屋	170~180箱	17~18隻	
		赤碕	7~167箱	4~30隻	5日間操業
	ヒラメ	泊	3~5箱	2~3隻	2日間のみ
はえ縄	フグ	淀江	15~35本	2隻	2, 3日間, 2 kg主体

1~2月の漁業の様相

- ・刺網漁が主体
- ・サワラ、アジ類、タイ類の漁獲が主体の様相

●1月上旬の沿岸域の海況 ※ 昨年同期に比べ、表面水温は約1℃高く推移。

表面水温は11月下旬から3~7℃降下。

クロロフィルa量は11月下旬から0.1µg/L増加。

・表面水温は12.6~14.8℃、0~20 m層の平均水温は12.7~14.8℃。

・赤碕と長尾鼻の沖側の水深185 m (底層) の水温は7.0と7.5℃。

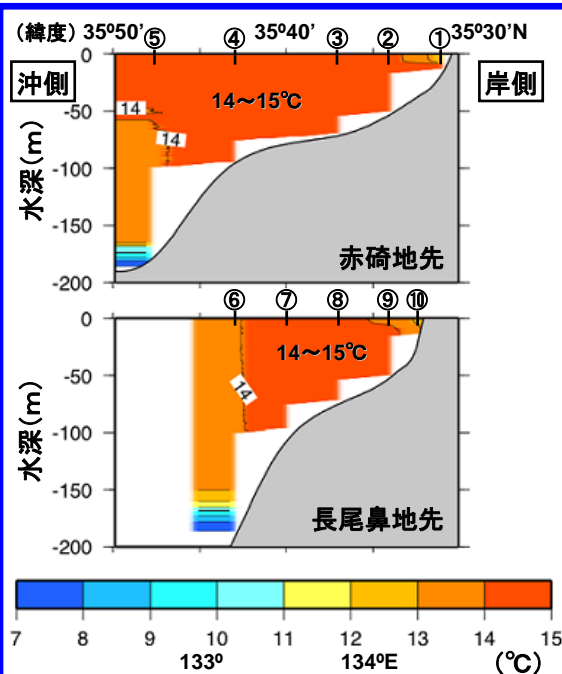


図1) 1月10日の赤碕と長尾鼻地先における水温の鉛直分布(上)と観測点(下)。

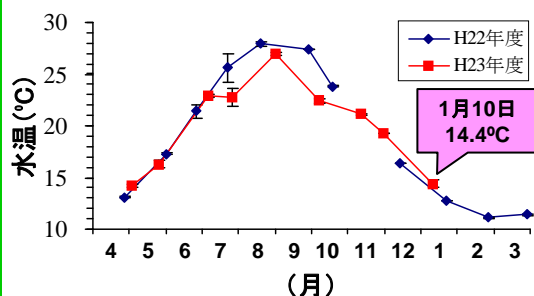


図2) 長尾鼻地先の水深50 m地点(⑨)における表層の水温の平均値の季節変化。

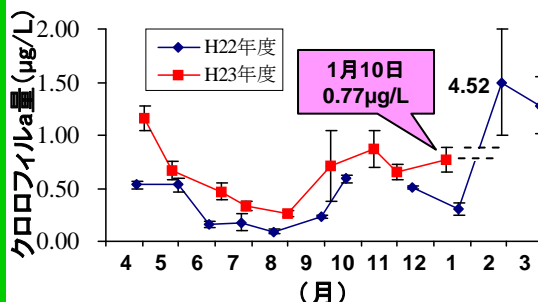


図3) 長尾鼻地先の水深50 m地点(⑨)における表層のクロロフィルa量の平均値の季節変化。

- ・水温は昨年同期より約1℃高く推移。季節風が強く、海水の鉛直混合が発達。
- ・クロロフィルa量は昨年同期に比べて0.5µg/L高く推移。←稚魚にとって、良い餌環境であることを示す。